

【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)

- 1 私たちは、子どもたちを守り、育てます。
- 2 私たちは、法律を遵守します。
- 3 私たちは、不祥事を許しません。
- 4 私たちは、地域に開かれた学校にします。

不祥事根絶のための行動計画

福山市立至誠中学校

区分	本校の現状と課題	行動目標	取組内容・時期
教職員研修の充実	<p>○教職員全員で管理運営研修やサービス研修を分担して行った。サービス研修は管理職が中心に行うことが多かった。</p> <p>○職員朝会で不祥事等の通知や新聞記事をその都度教職員に伝達し、注意喚起を促した。</p>	<p>○管理運営・サービス研修を教職員全員で分担しておこなう。 教職員によるサービス研修の割合を増やす。</p> <p>○サービス研修の方法や内容等を見直し、より体験的な研修を実施して研修効果が実感できるようにする。</p>	<p>○月1回、サービス研修を全職員に割り振り、計画的に実施する。</p> <p>○夏期休業中や冬期休業中を中心に、内容の濃い体験的な管理運営研修やサービス研修を実施する。</p>
組織としての不祥事防止体制の確立 (不祥事防止委員会)	<p>○不祥事防止委員会を月1回実施した。</p> <p>○忙しさの中で、教職員の状況をまだまだ把握しきれていない所もあり、職員同士の声かけも不十分であった。</p>	<p>○不祥事防止委員会を機能させていく。</p> <p>○教職員同士のコミュニケーションを促進する。</p>	<p>○不祥事防止委員会を月1回実施し、「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の状況やアンケートの状況を組織として把握し対応していく。</p> <p>○不祥事防止委員会で管理運営、サービス研修の内容等について確認していく。</p> <p>○もっとお互いのことを見て、気になることがあれば声かけをしたり、指摘していく。</p>
相談体制の充実	<p>○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を各学期実施した。</p> <p>○生徒へのアンケートを学期に2回実施した。</p>	<p>○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知及びアンケートを実施し、相談しやすい体制を継続していく。</p>	<p>○新年度、校内の全ての教室にポスターを掲示し、担当の教職員を明示する。</p> <p>○生徒に、いじめアンケートと併せて体罰、セクシュアル・ハラスメントの調査アンケートを学期に2回実施する。</p> <p>○保護者に、年間2回学校評価アンケートと併せて体罰、セクシュアル・ハラスメントの調査アンケートを実施する。</p>